

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成29年 龍源寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
1/4～1/7 年始挨拶
※1/10 年賀寺例
※2/3 大節分会
※2/15 釈尊涅槃会
※3/12大般若大施食会法要
※3月中旬 筆供養法要
3/17～3/23 春季彼岸会
3/23 旧蚕影山例祭日
4/8 釈尊降誕会(花祭り)
4/29
本堂撥遣法要会及檀家總會
大施食会併蚕影山例祭法要
5/12～5/16現代名僧墨蹟展
6/24 本堂地鎮会法要
7/13～7/16
京浜地区檀信徒棚經
※7/31～8/1(一泊二日)
第36回子供禪の集い
7/30 夏季おてんま
※8/10 中元寺例
8/13～8/16 盂蘭盆会
9/20～9/26 秋季彼岸会
10/22 本堂上棟会法要
10/29 町仏教会60周年式典
11/1～11/5 梅花授戒会
12月上旬 冬季おてんま
※12/8 釈尊成道会
※12/10 歳暮寺例
※12/31 除夜会
※毎週水曜日 定例坐禅会
※隔週水曜日
梅花講・華道教室
※は、御本寺仁叟寺にて開催

本堂地鎮会法要、無事圓成



↑住職導師により、宮大工宮入秀社寺建築入内島棟梁ほか本堂建設委員会、当寺総代人世話人、石匠多比良、多胡石材各位立会の下、修行。



↑地鎮会法要の後、地鎮の儀を執り行う宮大工・入内島秀男棟梁。



↑地鎮会法要終了後、挨拶をする出牛裕一総代長兼本堂建設委員長。

去る6月24日土曜日大安の午前10時、当寺本堂地鎮会法要が執り行われました。終了後は併せて、本堂建設委員会及び総代人世話人会議が開催されました。

同法要は、当山住職が導師を勤め、施工・宮大工宮入秀社寺建築株式会社入内島秀男棟梁ほか宮大工の皆様、石匠多比良、多胡石材産業が参列。建設委員会及び総代人世話人各位が実行委員となり、30名程の山内関係者と共に、法要を厳粛に修行することが出来ました。

鎮め物として、本堂解体時に出てきた多胡石製の宝珠と大本山總持寺御移転百年記念及び中国研修旅行で頂戴した念珠等を埋めさせていただき、工事の無事を祈念いたしました。

引き続き、本堂再建に向け、ご協力をお願いいたします。

本堂基礎工事及び上棟会法要迄の進捗報告



↑ 地鎮会法要終了後、石匠多比良様施工により進んだ基礎工事



↑ 多胡石材産業様施工による礎石設置工事

↑ 基礎材を設置し基礎工事完了



↑ 上州を代表する宮大工・堂宮入秀社寺建築株式会社様による本堂工事風景

6月24日の地鎮会法要圓成後、基礎工事が始まりました。施工は当山十三重塔及び駐車場工事等でもお世話になっております、吉井町多比良の石匠多比良様。凡そ一箇月半ほど掛け、鉄筋を入れ、防湿を施し、丁寧な施工をしていただきました。

基礎工事終了後、吉井町吉井川の多胡石材産業様により、礎石設置工事を行いました。インド産の立派な黒御影石一対を、本堂入口となる玄関前の礎石として設置していただきました。

その後、愈々上州を代表する宮大工、渋川市白井の堂宮入秀社寺建築株式会社様により上棟会に向け工事が着々と進んでおります。足場を組み、檜の柱が入り、屋根組より本堂のかたちが見えるようになって参りました。足場を組んでから僅か一箇月ほどの作業で、10月22日日曜日大安に修行される上棟会法要迄、あっという間に進みました。

現在のところ、本堂建設委員会で審議し檀信徒の皆様に配布いたしました工程表に沿って、順調かつ円滑に計画通り進んでおります。これからも、檀信徒始め関係各位のご協力が更に必要となります。何卒、宜しくお願い申し上げます。

第36回仁叟寺龍源寺子供禅の集い、修行



→ 坐禅風景
← 白田豊様、志賀一夫様指導による楽しい集い（ペットボトルロケット作成）



7月31日～8月1日に掛けて一泊二日、夏休み恒例の行事、子供禅の集いが仁叟寺にて修行されました。本年度で36回目となり、坐禅は勿論、楽しい集いでは、地元多胡の吉井ロケット愛好会の白田豊様、志賀一夫様両氏ご指導によるペットボトルロケットの作成をいたしました。ほか、西瓜割り、花火大会、度胸試し等、43名の参加者にとって夏休みのよき思い出になったものと思います。同集いは、毎年夏休みに合わせて行っております。対象は小学3～6年生。参加ご希望の方は、当山若しくは仁叟寺までお問い合わせ下さい。

自らを洲とする ～地区防災避難訓練～



↑ 地元消防署による消火器及びAED訓練の様子（仁叟寺境内）

8月20日、高崎市吉井町第13区の自主防災組織が中心となり、高崎市指定避難所であります仁叟寺にて地域防災避難

訓練を実施いたしました。第13区だけでなく地元の多胡小校区の皆様、消防団、行政及び社協、伊藤園及び第一テクノ、仁叟寺総代理員の皆様凡そ150名が集い、訓練を行いました。

関口区長、仁叟寺住職の挨拶に続き、当方が講師をつとめ、講話をいたしました。主に被災地での慰霊及び支援活動、また防災についてのお話しをさせていただきました。

引き続き、第一テクノ様より発電装置についての説明、伊藤園様より災害時対応自動販売機の説明を、それぞれデモンストレーションを交え行いただきました。更に、地元消防団様及び消防署様より消火器を使った消火訓練と仁叟寺にも常備しておりますAED装置の訓練を行いました。最後に仁叟寺に常備しております簡易トイレの説明を行い、その後被災地にて振る舞った事のある食事とカキ氷を参加者皆さんで召し上がっていただきました。

天候も雨に降られることなく、盛会に地域の避難訓練が多くの組織団体企業のご協力のもと、今回もつとめることが出来ましたこと、感謝しております。関口区長様はじめ自主防災組織の皆様方、お疲れ様でした。また当山本堂も完成の暁には、避難所として活用が出来ればとも思っております。

渡辺哲道上座、辨事職を修行



←長野県松本市を代表する古刹・徳運寺様。法友である谷川慈宣老師の住職就任式に行われた結制式にて当山弟子哲道上座が辨事職を勤めました

去る9月30日～10月1日に掛けて、信州松本市を代表する古刹・徳運寺様にて住職就任式である晋山式と前住職退任式である退董式が盛会裏に修行されました。併せて法戦式や晋山上堂等結制式がつとめられました。新命方丈様の谷川慈宣老師は、住職の大本山總持寺修行時代の法友であり、今回の大法会に弟子の哲道上座が辨事役をつとめる有難い法縁に恵まれました。

歴史ある古刹にて、随喜御寺院様、檀信徒の皆様はじめ多数の方々が集い、盛会かつ古式に則った厳粛な大法会が執り行われました。誠にありがとうございました。

哲道上座も、練習を行い、何とか無事大役を果たすことが出来ました。感謝しております。

盆迎え、春秋彼岸会、年賀挨拶について



←本年八月十三日、当山仮本堂にてのお盆迎えの様子。

本堂再建中につき、仮本堂である長屋門檀信徒会館にて、季節折々の伝統恒例行事を通常通り行っております。8月13日のお盆迎え及び9月23日の秋彼岸会は仮本堂にてお勤めいたしました。元旦の年賀挨拶も同様におつとめいたします。

ご本尊様にまたご先祖様に香を薫じ、ご挨拶していただき、皆様方ご家族の身体健勝、家内安全をご祈念するよう、ご来山下さい。

行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

龍源寺開闢以来の大事業となります本堂再建事業。6月24日に地鎮式法要が修行され、以降基礎工事を施工。完了後に愈々上州を代表する宮大工・堂宮入秀社寺建築株式会社による匠の技をもった工事が進んでおります。

10月22日日曜大安の吉日が上棟式法要となり、檀信徒始め関係各位にご案内を差し上げました。建設委員会で検討した結果、古式に則り、同法要をつとめ、多くの子供さんに来

寺していただくよう、菓子等を撒く「たてまい」（餅投げ）も企画いたしました。

引続き、再来年の落慶まで工事は続きます。檀信徒の皆様には、物心両面に於いてお世話になっております。引き続き、更なるご協力を宜しくお願いいたします。合掌（龍）

